

策定のねらい

- インバウンドがもたらす経済効果を全国に波及させるため、本書は、市町村等の交通施策担当者が、訪日外国人旅行者の誘客を支える交通施策を計画するにあたって参考となるよう、訪日外国人旅行者の観光特性、交通特性等の分析手法、交通施策の検討方法等についてとりまとめ。
- 具体的には、訪日外国人旅行者が訪れる地域の傾向等(観光特性)、地域内外における周遊状況やその交通手段等(交通特性)の現状を把握するための分析手法のほか、現状把握を踏まえ、訪日外国人旅行者を誘客するための交通ネットワークの編成や交通案内等に係る施策の検討方法等についてとりまとめ。

構成

1.関係者間での目的・目標の共有

- ・観光事業者等との連携の重要性及び目的・目標の設定の考え方

2.訪日外国人旅行者の地方への誘客戦略の検討

- ・訪日外国人旅行者の観光特性(訪問地の傾向等)及び交通特性(周遊状況、交通手段)等の現状を把握するための分析手法(図1)
- ・現状把握に基づいた、自地域の強み・弱みの分析(SWOT分析)
- ・SWOT分析に基づいた国籍等ターゲット設定及び周遊を促すモデルルート

3.訪日外国人旅行者の地方への誘客を支える交通施策の検討

- ・訪日外国人旅行者の視点に立ったモデルルートを実現する上での交通ネットワークの課題分析方法(対象と視点)(図2)
- ・課題に対する交通施策(図3)

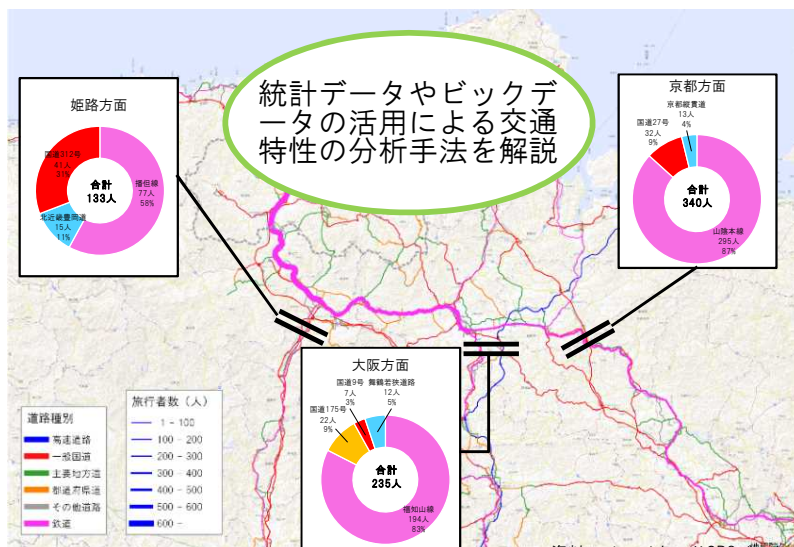


図1 交通特性の分析
(地域内における周遊状況と交通機関分担率)

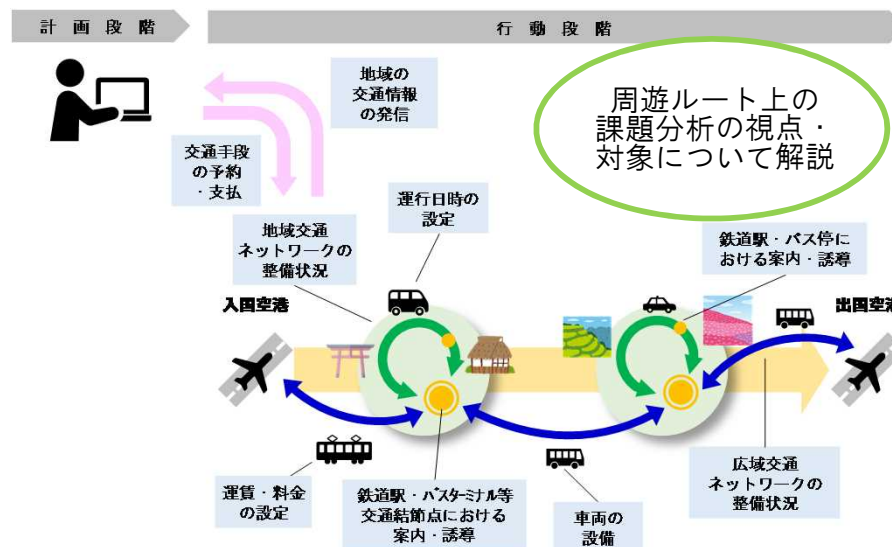


図2 モデルルートの課題分析の対象と視点



図3 交通施策
(ネットワークの導入事例)